



9 JR 鎌取地区

■地区の概要

| | | |
|---------------------|-----------------|---|
| 位置づけ (立地適正化計画) | 重要地域拠点 | |
| 面積（促進地区） | 76.0ha | |
| 旅客施設（3000人/日以上）乗降客数 | JR 鎌取駅 | 41,514人（平成30年度） |
| バス便数 | 鎌取駅南口 | 252（本/日）・片道（上下線平均）（2017年） |
| | 鎌取駅北口 | 202（本/日）・片道（上下線平均）（2017年） |
| 生活関連施設数 | 11施設 | |
| 生活関連経路延長 | 約3,500m | |
| 500m圏人口 | 5,682人 | ※JR 鎌取駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ) |
| 500m圏高齢者数 | 822人 | |
| 500m圏高齢化率 | 14% | |
| 従前の基本構想から の主な変更点 | 有吉貝塚公園を含むよう地区拡大 | |

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

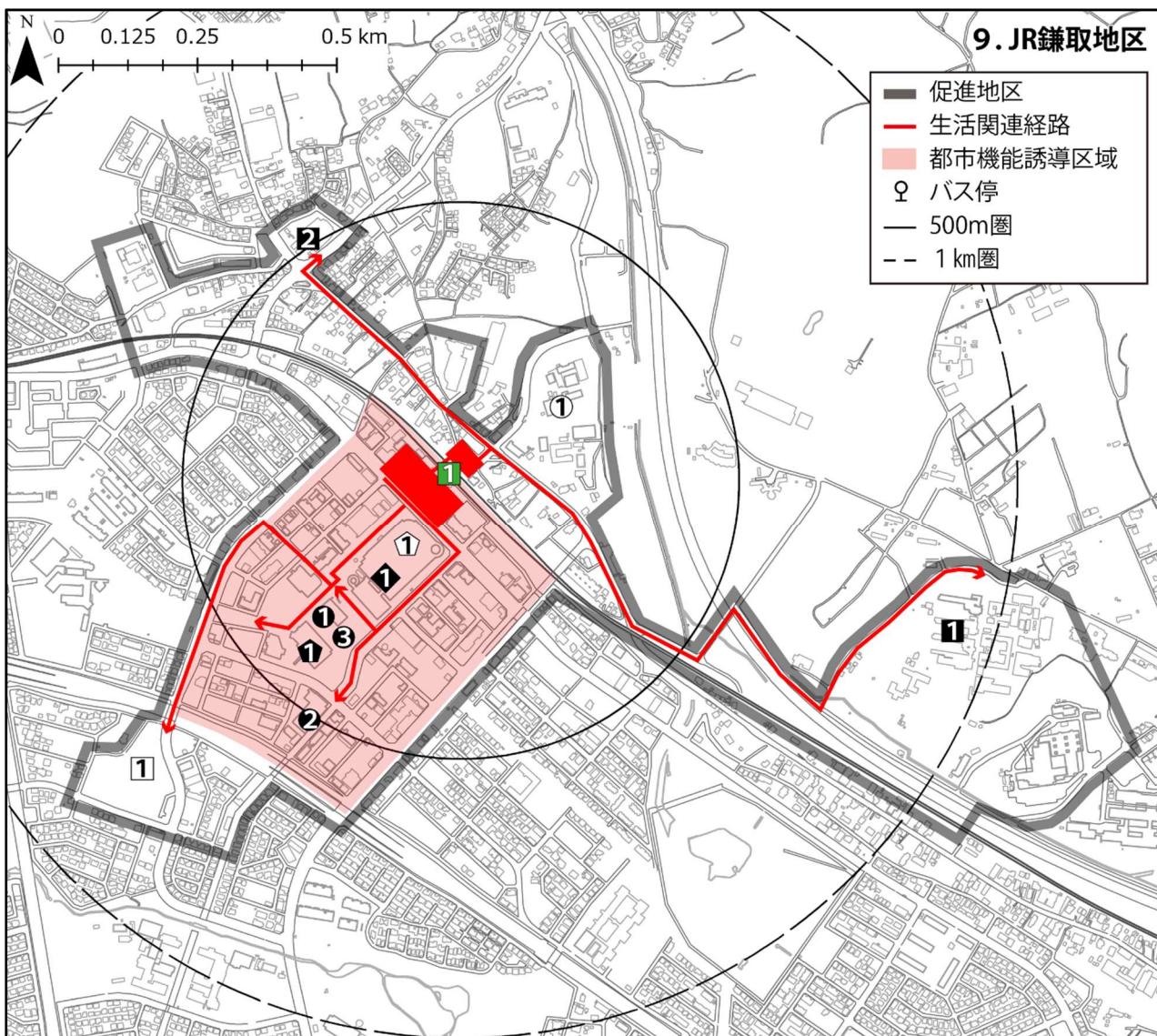
JR 鎌取地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅南口は歩行者専用道となっており、公共施設、集会施設、福祉施設、大規模店舗が集積しています。1km圏域内に広域からの利用が想定される下総精神医療センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は商業・業務系、中高層住宅が多く、駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 鎌取駅の乗降客数は平均的です。バス便数は比較的多く、千葉・蘇我駅方面や誉田駅方面などへアクセスしています。

南口側の駅や道路、施設は基本的に歩道が広く、視覚障害者誘導用ブロックが整備されているなどバリアフリー化されていますが、デッキ構造となっていることからバリアフリールートの案内の充実などが必要です。北口側では大網街道の歩道が狭く、また下総精神医療センター方面への経路は路側帯もない道路となっており、歩行環境の改善が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



| 種別 | 番号 | 施設名称 |
|----------------|----|--------------------|
| 旅客施設 | 1 | JR 鎌取駅 |
| 公共施設 | 1 | 緑区役所 ※1 |
| | 2 | 千葉緑郵便局 |
| | 3 | 緑市税出張所 ※1 |
| 集会施設 | 1 | 鎌取コミュニティセンター |
| 福祉施設 | 1 | 千葉市あんしんケアセンター鎌取 ※2 |
| 保健施設 ・病院 | 1 | 国立病院機構下総精神医療センター |
| | 2 | 緑保健福祉センター |
| 文化・教養 ・教育施設 | 1 | 県立千葉聾学校 |
| 大規模店舗 | 1 | イオンスタイル鎌取 ※2 |
| 都市公園 | 1 | 有吉貝塚公園 |

※は同一建物内



JR 鎌取駅



JR 鎌取駅前ペデストリアンデッキ